

サステナビリティ重点課題 進捗・実績 (2023年8月現在)

※ 会社略称表記
 SH: サッポロホールディングス、SB: サッポロビール、PS: ポッカサッポロ、
 SRE: サッポロ不動産開発、SLN: サッポロライオン、SGF: サッポログループ食品、
 SBL: スリーマン、SUSA: サッポロUSA、SVL: サッポロベトナム、PK: ポッカ、YSM: ヤスマ、
 FBS: フォーモストブルーシール、SSI: 神州一味噌

※SBTイニシアチブコミットメントレター提出、受理済

区分	最注力	重点課題	具体的取り組み	指標	目標設定会社	目標年	目標	2023年上期までの実績		
環境との調和	●	脱炭素社会の実現	自社拠点・サプライチェーンにおける温室効果ガス排出削減	・温室効果ガス排出削減	サッポログループ	2030年	・スコープ1,2 温室効果ガス排出量を2022年比で42%削減	[2022年実績] 189.3千t		
							・スコープ3 温室効果ガス排出量を2022年比で25%削減	[2022年実績] 1082.6千t		
							・FLAGスコープ1,2,3 温室効果ガス排出量を2022年比で31%削減	[2022年実績] 101.8千t		
	●	循環型社会の実現	・循環型社会に対応した容器包装の実現 ・水資源のリデュース・リサイクル	・PETボトル製品 再生材利用率	SB	2030年	・国内製造ワインPET 再生材利用率50%	[2022年実績] 再生材利用率 48.2%		
							PS	2030年	・国内販売PET製品 再生材利用率50%	[2022年実績] 再生材利用率 4.0%
							SB	2030年	・化石燃料由来のワンウェイプラスチック製広告品類 国内原則廃止	[2022年実績] 83.7t ※20年 160.6t、21年212.3t
			廃棄物・食品ロス削減	・食品再生化等実施率	SLN	2024年	・食品再生化等実施率50%	[2022年度 (2022.4~2023.3) 実績] 48.4%		
							SB,PS		・国内生産拠点における廃棄物再資源化率100%	[2022年度 (2022.4~2023.3) 実績] 100%
							SB,PS	2030年	・水使用量削減率	[22年実績] グループ (SB+PS) : 17%減
	SB,SBL,SUSA,SVL,PS,PK,YSM,SSI	・1回/3年以内による全生産拠点等の水リスクを調査 ・水の効率的な使用								
●	自然共生社会の実現	気候変動に対応した原料育種、自然と共生する拠点・まちづくり	・気候変動対応原料育種の進捗	SB	2030年	・気候変動対応可能な特性を持つ大麦・ホップの国内品種登録出願	◆大麦 ・赤かび病抵抗性、穂発芽耐性、その他環境適応性の高い母本選抜等、進捗中。 ・穂発芽耐性の付与と発芽期間の短縮を実現する新たな大麦 (N68-411) について国際学会 (ASBC) において発表 ◆ホップ ・根系簡易評価法確立のための試験継続 ・うどんこ病抵抗性の評価を開始			
社会との共栄	●	地域との共栄	・地域の価値向上 ・自社リソースを活用した地域課題解決	・エリアブランド価値向上に資する持続可能なまちづくりの進捗	SRE		・保有物件価値向上と賑わいの創出 ・物件エリアのステークホルダーとのコミュニティ形成・強化・拡大 ・誰にでも優しい施設づくり	・恵比寿ガーデンプレイス、センタープラザグランドオープン (2022年11月) ・YGPオフィスタワーCASBEEウェルネスオフィス評価認証「Sランク」取得 ・第4駐車場新築工事進捗中		
				・「地域創生事業」の進捗	SB		・自治体と連携した持続可能な地域創りとして、食材商談会における地域の食材サプライヤーと企業のマッチング等を実施 ・商談会における自治体、サプライヤー、バイヤー満足度75.0%以上	[2022年実績] 計5案件受注。全246商談、成約42件。 飲食店フェア実施店62店 商談会における自治体、サプライヤー、バイヤー満足度93.4%		
				・日本のレモン生産の環境構築の進捗	PS		◆長期 ・日本のレモン栽培の豊かさと土壌とを、未来の人々と地域に受け継ぐ ◆短期 ・毎年最低でも農地の最小単位である2,000㎡を増やす ・自社だけでなくパートナーととも、栽培耕地の拡大 ・後継不在の農地引継ぎ、耕作放棄地の再生等の実施	[2022年度実績] 高齢のために自主管理農地を縮小する方より、 レモン80本を栽培する農地を新たに借り受け (面積2,000㎡ 開始時期22年3月より)		
				・食品飲料事業に関する地域における学習プログラム (食育、出前授業、工場見学等) の実施件数	PS,SGF	2030年	2021年比で10倍 (400件規模)	[2022年度実績] 131件 (2021年比 約3.5倍)		
	●	健康価値の提供	事業を通じた健康価値の提供	「ポッカレモン」ブランド集計 [年間購入率 (%)・年間購入数 (購入者あたりの本数)]	PS	2030年	レモンが持つ健康機能の発信や用途・シーンの提案を通じて、レモンの総需要を拡大することで人々のWell-Beingに貢献する	[2022年度実績] ①年間購入率 15.90 (%) ②年間購入数 1.85 (購入者あたりの本数) <過去参考値> ①19年13.82/20年16.00/21年16.49 ②19年1.81/20年1.83/21年1.90		
				・お客様の健康に焦点を当てた商品の展開状況	PK	2030年	健康に焦点を当てた新商品の開発と市場浸透を進め、売上構成比10%を目指す (POKKA製品に限る)	[2023年6月時点実績] 健康に焦点を当てた商品開発を進行中		
				・健康価値提供に資する保有物件の認証取得状況	SRE		・健康価値提供に資する保有物件の認証取得	・オフィスタワー-CASBEEウェルネスオフィス評価認証「Sランク」取得 (8月1日付、物件認証1件目)		
	●	持続可能なサプライチェーン構築	・サプライチェーンにおける人権尊重 ・サプライチェーンにおける環境負荷低減 ・安定調達	・サステナビリティ調達ガイドラインの遵守率	SB,SBL,SUSA,SVL,PS,PK,YSM,FBS,SSI,SLN		・「調達基本方針」及び「サステナビリティ調達ガイドライン」の働きかけ及び浸透策の実施。	各社主要調達先への働きかけに取組み、対象サプライヤーを順次拡大中。		
					SB,PS		・主要調達先のサステナビリティ調達ガイドライン 遵守率100%	[2022年実績] 92%		
				・人権DDプロセスの進行状況	SB,SBL,SUSA,SVL,PS,PK,YSM,FBS,SSI,SLN		・サプライチェーンの人権尊重を確認できるスキーム ^(注) の確立・実行。(主要原料と高リスク原料から優先実施) ※①各原料に関するサプライチェーンの一覧化 ②アンケート等による日常活動確認 ③必要に応じた状況調査等 ④必要に応じた是正の確認	・SB、PSに加えて、SVL、SBL、SLNが対象となる1次サプライヤーの一覧化完了。その他各社一覧化取り組み中。 ・②に対する効率的な取り組みとしてSedexの活用を進めている。		
				SB,PS	2025年	・主要原料および高リスク原料について、人権尊重された調達になっていることの確認を実施	・「サステナビリティ調達アンケート」により、主要調達先の取り組みを確認。 ・Sedexを活用しての確認を進めている。			
		SRE		・不動産事業における「ベニューチェーン人権尊重に関する実態把握	[2022年実績] 検討継続					

区分	最注力	重点課題	具体的取り組み	指標	目標設定会社	目標年	目標	2023年上期までの実績
人財の活躍	●	多様な人財の活躍	ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)の推進	多様な価値観、新しい働き方に合わせた制度・環境の整備状況	SH,SB,PS,SRE,SLN	2026年	・ワークエンゲージメント(※) 54以上 ※ストレスチェック・従業員意識調査による指標<偏差値>	【2023年調査結果】 54.0
					SBL		・D&I研修を受けた従業員の割合 100%	・D&I研修を受けた従業員の割合 94%
					SVL		・コンシャス・インクルージョン研修を受講した雇用リーダーの割合:100%	・コンシャス・インクルージョン研修の受講割合 17%
					PK		・D&I理解度 6.0点(※) ・経営陣の中のローカル社員人数 2名 ・組織文化調査 6.00点(※) ※SVL社実施の「組織文化調査」による指標(7点満点中)。	・D&I理解度:23年より調査開始 ・経営陣の中のローカル社員人数 1名 ・組織文化調査 5.80点
							・エンゲージメント(※) 80% ※PK社実施の「従業員調査」による指標(ベンチマーク76%)。	【2022年】 76%
			成長と生産性向上に向けた人的資本投資	・女性活躍推進の進捗状況	SH,SB,PS,SRE,SLN	2026年	・女性取締役比率12%以上、女性管理職比率12%以上	【2023年6月末現在】 取締役比率 8.1%、管理職比率 5.7%
					SH	2030年	・女性取締役比率30%以上	
					SH,SB,PS,SRE,SLN	2030年	・女性管理職比率20%以上	
			成長と生産性向上に向けた人的資本投資	・未来価値創造に向けた挑戦的な風土醸成の進捗度合い	SH,SB,PS,SRE,SLN	2026年	・統合調査「未来価値創造に向けた挑戦」(※)3.0以上 ※ストレスチェック・従業員意識調査によるサポグループ独自の調査指標<1.0~4.0で数値化>。	【2023年調査結果】 2.7
					SH,SB,PS,SRE,SLN	2026年	・経営人財後継者の充足 ・グローバル中核人財100名 ・DX・IT基幹人財200名	各事業会社にて、経営人財育成会議実施 ・グローバル中核人財:常時100名以上プールしている ・DX/IT人財:150名
SH,SB,PS,SRE,SLN	2026年	・プレゼンティーズム損失率(※) 33.4%以下 ※ストレスチェック・従業員意識調査による指標			【2023年調査結果】 プレゼンティーズム 33.8%			
SH,SB,PS,SRE,SLN	2026年	・純アルコール量のラベル表示進捗 ・e-learning等による適正飲酒に関する啓発の社員受講率			【2023年6月時点実績】93% 【2023年上期実績】 SB:実施率99.7%			
責任ある飲酒の推進	適正飲酒の啓発	SB	2025年	・国内全従業員へのe-learning等による啓発(1回/年以上)100%参加	【2023年上期実績】 SB:実施率99.7%			
		SB,SLN		・飲食店におけるアルコールの語飲発生件数	【2023年上期実績】 語飲事故なし			
		SLN		・飲食店メニュー・POP類へ20歳未満飲酒防止メッセージの表示率	【2023年6月時点実績】 100%			
		SLN		・飲食店メニュー・POP類へ20歳未満飲酒防止メッセージの表示率	【2023年6月時点実績】 100%			
安全な製品・施設の提供	食品安全	・食品安全保証体制の運用、継続的改善 ・重篤な食品事故の発生件数	SB,SBL,SUSA,SVL,PS,PK,FBS,SSI,SLN		・食品安全保証体制への、お客様をはじめとしたステークホルダー(社内を含む)の声の反映。 ・重篤な食品事故の発生抑制	【2023年上期実績】 ・1件の対外告知案件(PS:アーモンドキャンパンシールのアドレス間違い)が発生したものの、重篤な食品事故には至らず ・食品安全活動の継続実施により、上半期の自社起因ご指摘件数減少(SS1:前年比48%減) <お客様の声を受けての改良> ・ハーフトレイ包装の高炭酸飲料に直射日光があたった際の影響について、シュリンク外装のデザイン変更及び注意喚起表示を改良(PS:23年7月製造より) ・「こいも」に糖質ゼロ、プリンゼロの表示を実施(SB)		
			SRE		・保有物件における適切な非常用電源の確保 ・保有物件における耐震性能の確実な確保 ・有事対応計画に関する定期的な見直しと訓練の遂行	【2023年上期実績】 ・一時帰宅困難者対応に関する検討を継続 ・震災訓練2回実施(5月、7月) ・震災初期対応に関するQA策定		